



The Omi-hachiman Chamber of  
Commerce and Industry

70th Anniversary  
Commemorative Magazine

# 近江八幡商工会議所 創立70周年記念誌





## ご挨拶



会 頭  
尾 賀 康 裕

本年、近江八幡商工会議所は設立70周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、会員の皆さまをはじめ、地域の皆さま、関係機関・団体のご支援ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当会議所は1955年4月に、商工業の振興と地域の発展を目的として誕生いたしました。以来70年にわたり、時代の変化に応じた事業の推進を通じて、地域経済の発展と会員企業の成長に寄与してまいりました。平成・令和の時代を迎え、デジタル化や人口減少、環境問題といった課題に直面する中にあっても、当所は「地域の伴走者」として、持続可能な地域づくりに貢献し続けております。

また、近江八幡の豊かな自然と歴史・文化に根ざした産業は、地域の誇りであり、未来を切り拓く大きな力でもあります。商工会議所は、そうした地域の強みをさらに磨き上げ、新たな価値創造へとつなげるため、引き続き積極的な支援と連携を進めてまいります。

本記念誌が、当所70年の歩みを振り返るとともに、次なる未来への羅針盤となることを願ってやみません。結びにあたり、今後とも皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、近江八幡の更なる発展と皆さまのご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

# For the future 拓けゆく—近江八幡

70年の歩みを力に、地域とともに次の未来へ。

ご挨拶	会 頭	尾 賀 康 裕	3
祝 辞	滋賀県知事	三日月 大造	4
	近江八幡市長	小 西 理	5
	近江八幡市議会議長	山本 英夫	6
	日本商工会議所会頭	小 林 健	7

10年のあゆみ	8
70周年特集 特別座談会	10
近江八幡商工会議所概要	14
近江八幡商工会議所議員名簿	15



# 祝 辞

滋賀県知事  
三日月 大造



近江八幡商工会議所が創立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。昭和30年の設立以来、地域の総合経済団体として、中小企業の経営指導はもとより、まちづくりや地域経済の振興に多大な御貢献をいただいております。これもひとえに、役職員の皆様をはじめ会員の皆様方の御尽力の賜であり、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、現在の地域経済を取り巻く環境は、物価の上昇、人手不足、経営者の高齢化などにより、非常に厳しく先行きが見通しにくいものとなっています。

そのような中、貴商工会議所におかれましては、「はちまん創業塾」をはじめとした創業支援の他、事業承継支援、空き店舗・空き家の活用、地域ブランド「はちまんもん」の認定など、地域資源を最大限活用して地域の活性化につながる取組に御尽力されてこられました。柔軟な発想を基に、積極果敢に新たな取組を展開いただいておりますことに改めて深く感謝申し上げますとともに、未来を見据えて地域経済の持続可能な発展を目指す貴商工会議所がこの70周年を契機とし、更なる「挑戦」をされますことに御期待申し上げます。

県におきましても、産業振興施策を総合的に推進するための中長期の指針である『滋賀県産業振興ビジョン2030』において、「新たなチャレンジ」が日本で一番行いやすい県、「社会的課題」をビジネスで解決し続ける県を目指す姿としております。イノベーション創出、海外展開など、様々な手法を用いて中小企業の皆様の挑戦を貴商工会議所と一緒に後押ししてまいりたいと考えております。

また、令和8年度は安土城築城450年の節目を迎え、令和9年度には滋賀デスティネーションキャンペーンを実施します。これらの機会を活かし、観光関連産業をはじめとする地域経済の力強い成長を目指してまいります。歴史豊かで、多様な観光資源を有する近江八幡を拠点とされる貴商工会議所におかれましても、お力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、貴商工会議所の今後ますますの発展と、会員の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

# 祝 辞

近江八幡市長  
小西 理



このたび、近江八幡商工会議所創立70周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴会議所におかれましては、昭和30年の創立以来、本市における地域商工業を支える総合経済団体として、商工業者の皆様の多様なニーズにお応えいただきながら、経済・産業の振興発展はもとより、まちづくりをはじめとする地域の発展にも多大なるご貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

中でも、地域ブランドの創出を目指した「はちまんもん」や、起業支援を通じた地域産業の担い手育成を目的とした「はちまん創業塾」の事業においては、本市の目指す地域経済の持続的発展とも方向性を共有するものであり、これらの取組みに対しましても心より敬意を表する次第です。

今日、我が国の経済は急速な変化の中にあり、人口減少や少子高齢化といった長期的な課題に加え、頻発・激甚化する自然災害、さらには物価高騰など、社会・経済を取り巻く環境は大きく変動しております。また、急速に進展するデジタル化への対応や、地域商業の新たなビジネスモデルへの転換が求められる時代を迎えており、こうした変化に柔軟に対応できる「地域の力」の重要性が、ますます高まっております。

そのような中、本市では、総合計画後期基本計画において、子育て支援、多様性の尊重、環境・気候変動対策、雇用の創出、公共交通の充実、DXの推進などの施策を一層強化し、持続可能なまちづくりに向けて取り組んでまいり所存です。あわせて、本年度からは「第2期商工業振興ビジョン」を策定し、地域の産業基盤の強化と新たな活力の創出に向けて取り組みを進めてまいります。

本市が目指す、『人がつながり 未来をつむぐ「ふるさと近江八幡」』の実現に向け、今後とも貴会議所との連携をさらに深めるとともに、役職員、会員の皆様方と協働しながら、積極的な取り組みを進めてまいりたいと考えております。引き続き、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、この記念すべき創立70周年が、次なる節目に向けた飛躍の出発点となりますことを願い、貴会議所のますますのご発展と、会員並びに職員の皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



# 祝 辞

近江八幡市議会 議長  
山本 英夫



近江八幡商工会議所創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

近江八幡商工会議所におかれましては、創立以来、公正不偏の立場から、地域総合経済団体として商工業者の世論を代表し、経済環境の充実のもとより、地域振興や社会一般の福祉の増進に寄与することを大きく活動目的とされる中で、地域における商工業の総合的かつ健全な発展に多大なるご貢献を賜わっているところでございます。

これもひとえに、会頭をはじめ歴代の役員、会員並びにご関係の皆様方のたゆみないご尽力の賜物であると、深く敬意を表する次第であります。

さて、昨今の社会・経済環境に目を向けると、コロナ禍を経て、我が国の経済は、大手企業を中心に緩やかな回復基調にあるといわれていますが、地域経済を支えていただいています中小企業、小規模事業者は少子高齢化による人手不足や国際紛争に起因した円安、原材料価格や物価の高騰などの影響を受け、取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。また、とりわけ継続する物価高騰は、日々の市民生活に深刻な影響を与えています。

このような中、国においては、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を令和6年11月に定め、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済の実現と「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとすることを目指し、当面の支援措置等を含めた様々な取組が進められています。

これらの取組と地域経済の回復が、地域の社会保障の充実や安心できる社会基盤を確立するための大きな土台となることから、貴商工会議所の役割がますます大きくなる中、地域経済の牽引に積極的に取り組み、ご尽力を賜っていることは、市民にとりましても大変心強く、大きな期待が寄せられていると存じます。

市議会といたしましても、依然として先行きの不透明感が否めない地域経済の回復と活性化に向けて皆様とともに一步一步着実に進んでまいり所存でございますので、ご理解ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、今回の記念すべき70周年を契機に、近江八幡商工会議所の今後ますますのご隆盛と会員皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。お祝いのことばとさせていただきます。

# 祝 辞

日本商工会議所 会頭  
小林 健



近江八幡商工会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

近江八幡商工会議所におかれましては、昭和30年の創立以来、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献してこられました。これも偏に、歴代、そして現在の役員、議員、会員、女性会、はちまん青年経営者会、ならびに職員の皆様のご尽力の賜であり、深く敬意を表します。

さて、日本はようやく30年の停滞から抜け出し、金利や物価が上昇し、併せて賃金も引き上げられるなど、経済が活発化する条件が整い、再出発のときを迎えています。

他方、世界では歴史的な転換期を迎え、不確実性が大きく増しています。各国の政策や地政学リスク、国際協調の行方が日本経済、そして中小企業経営にも大きな影響を与えることが予想されます。

私たち商工会議所と各企業は、激しい環境変化の中においても確固たる座標軸を持ち、様々なシナリオを想定しながら具体的な行動に移すことによって、新しい時代を切り拓いていくことが求められています。

こうした中、近江八幡商工会議所におかれましては、地域を支える中小・小規模事業者に対す

る親身な経営支援はもちろん、多彩かつ実践的な起業セミナーである「はちまん創業塾」の実施や、経営分析からIT技術活用まで幅広いテーマでのセミナーを長年継続されるなど、会員企業の成長や地域経済の活性化に多大なる貢献をされています。

また、地域の豊かな自然環境・歴史・文化を生かしながらも新しさを取り入れた商品を地域ブランドである「はちまんもん」として認定し、その本質的な価値を内外にアピールするとともに、事業継続を安定的なものにすることで地域資源を未来へ引き継いでいくことに注力されており、大変心強い限りです。

こうした地域に寄り添って果敢に取り組まれている姿勢が、「信頼される商工会議所」として存在意義を高められているものと存じます。

日本商工会議所といたしましても、皆様とともに新しい時代を切り拓いていくべく、志高く、日本再生・変革に挑んでまいります。

結びに、近江八幡商工会議所におかれましては、創立70周年を新たな出発点とし、尾賀会頭を中心により一層結束を深められ、さらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申し上げます。



# 近江八幡商工会議所 10年の歩み

# Record 2016-2025 受け継ぐ誇り、紡ぐ次の10年へ――

◆：主な国内の動き ●：主な市内の動き

年度	主な取組み	主な国内・市内の動き
2016 H28	4月 [はちまん青年経営者会]熊本地震発生1週間後に被災地に支援物資搬送	◆熊本地震(最大震度7)
	7月 八幡商人育成事業「創業支援スタートアップセミナー」を開催	◆伊勢志摩サミット開催
	9月 「近江八幡の伝統 ― 松明特別展示」を八幡堀まつりと同時開催	◆選挙権を18歳以上に引き下げ
	9~11月 空き町家を活用したチャレンジショップなど起業家育成に取組む	●環境エネルギーセンター使用開始 ●リオ五輪シンクロ競技銅メダルの乾友紀子選手が市民栄誉賞受賞
2017 H29	4月 会員交流事業「伊勢神宮散策&お伊勢さん菓子博2017」視察研修ツアーを開催	◆「共謀罪」を新設
	7月 八幡商人育成事業「第1回近江八幡地域クラウド交流会」を開催	◆桐生祥秀選手が100m9秒98の日本新記録(当時)樹立
	8月 [はちまん青年経営者会]「おうみはちまん夏まつり」を初開催	●市立看護専門学校で最後の戴帽式
	2月 会員交流事業として音楽交流会「JAZZ LIVE」を初開催	●安土駅自由通路・駅舎が完成
2018 H30	6月 会員交流事業「サッカーワールドカップ乾貴士選手応援観戦」を開催	◆西日本豪雨(岡山、広島、愛媛など)で死者220人超
	7月 びわ湖トライアスロン in おうみはちまん実行委員会が日本商工会議所奨励賞受賞	◆本庶佑氏がノーベル医学生理学賞を受賞
	2月 [女性会]「近江八幡の食材で作るひなまつりメニューコンテスト」を開催	●小西市長就任
	3月 [女性会]おひなまつりイベントで写真撮影会を開催	●FIFAワールドカップロシアで活躍の乾貴士選手が市民栄誉賞受賞 ●富士宮市と近江八幡市が夫婦都市50周年
2019 H31 R1	7月 [はちまん青年経営者会]「はちまんフェスタ2019」を近江八幡青年会議所と合同で初開催	◆元号が「平成」から「令和」に
	8月 消費税軽減税率対策窓口相談等事業「消費税増税&キャッシュレス決済対策セミナー」を開催	◆消費税率が8%から10%に
	11月 尾賀康裕氏が第12代会頭に就任	◆東京五輪・パラリンピックが1年延期 ●ふるさと納税・寄付額が過去最高額を更新 ●市制施行10周年記念式典を開催
2020 R2	5~12月 小規模事業者持続化補助金<コロナ特別対応型>の申請を支援	◆初の緊急事態宣言が7都府県に
	6~7月 [新型コロナウイルス対策事業]地域飲食店応援クラウドファンディング「みらい飯 近江八幡」を実施	◆安倍首相が辞任
	11月 [新型コロナウイルス対策事業]「近江八幡三方よし商品券プロジェクト」を安土町商工会と協力してクラウドファンディングで実施	●沖島住民の新たな命綱・消防救急艇「はるかぜ」運用開始
	3月 健康経営優良法人2021を認定取得	◆近江八幡三方よし商品券プロジェクト
2021 R3	5~12月 小規模事業者持続化補助金<低感染リスク型ビジネス枠>の申請を支援	◆新型コロナワクチンの高齢者への優先接種が開始
	7~8月 「事業再構築補助金対策セミナー」を開催	◆東京五輪・パラリンピックが無観客で開幕
	9月 「近江八幡三方よし商品券プロジェクト」第2弾を実施	◆秋篠宮家眞子さまが小室圭さんと結婚



尾賀康裕氏



◆近江八幡三方よし商品券プロジェクト

年度	主な取組み	主な国内・市内の動き
2021 R3	12月 パソコン教室受講料補助事業を実施	●商工業振興ビジョンを策定
	1月 広告活動等を支援する販売促進活動支援金事業を実施	●おうみはちまん地元応援クーポンを発行
	1月~ 事業復活支援金の申請をサポート開始	
2022 R4	4月 [はちまん青年経営者会]10周年記念式典を開催	◆成人年齢を18歳に引き下げ
	6月 「第7回 びわ湖トライアスロン in おうみはちまん」を3年ぶりに無観客で開催	◆知床半島沖で観光船沈没。乗員乗客20人が死亡、6人が行方不明
	7月 「近江八幡三方よし商品券プロジェクト」第3弾を実施	◆安倍晋三元首相が街頭演説中に銃撃され死亡
	10月 「インボイス制度対策セミナー」を開催	●体験型事業創出事業補助金を公募
	11月 求人チラシ「はっちージョブ」を発行し新聞折込にて配布	
2023 R5	2月 近江八幡ガイドマップ「びよんぱち GUIDE MAP」を発行市内店舗などに69枚の商いいろはカルタ看板を設置	◆「びよんぱち GUIDE MAP」と「商いいろはカルタ看板」
	9月 近江八幡出身のジャズ漫画家 木川かえるの生誕100年回顧展とトークショーを開催	◆新型コロナウイルス感染症法上の「5類」に移行
	11月 近江八幡の情報アプリ「びよんぱち GUIDE MAP」を作成商いいろはカルタ看板を巡るデジタルスタンプラリーを実施	◆G7広島サミット開催
	木川かえる 生誕100年記念「商いいろはカルタ」復刻プロジェクトとしてクラウドファンディングを実施	◆福島第1原発処理水の海洋放出開始
2024 R6	12月 近江八幡ブランド認定事業「はちまんもん」を開始第1回認定商品として15事業者の22商品を認定	◆インボイス制度開始
	8~10月 越境ECセミナーを開催、「近江八幡商工会議所×ZenPlus」サービス開始	◆能登半島地震(最大震度7)
	11月 「新入会員交流事業」を開催(入会5年目までを対象)[女性会]第56回全国商工会議所女性会連合会滋賀全国大会開催	●家計にプラス たすカルチケッを発行
	12月 [はちまん青年経営者会]クリスマスマーケットを初開催	
2025 R7	1月 平和堂アル・プラザ近江八幡にて「はちまんもん POP UP STORE」を開催	
	5月 創立70周年記念事業「大阪・関西万博バスツアー」を開催	◆大阪・関西万博開幕
	10月 創立70周年記念式典を開催	◆元巨人の「ミスタープロ野球」長嶋茂雄氏死去



◆近江八幡ブランド認定事業「はちまんもん」

(京都新聞社・近江八幡市提供)

▼町家チャレンジショップ(2016年)

▼地域クラウド交流会(2017年)

▼おうみはちまん夏まつり(2017年)

▼女性会おひなまつりイベント(2018年)

▼新入会員交流会(2024年)

▼万博バスツアー(2025年)







## 地域とともに歩んだ わたしたちの70年 創業70年企業に聞く

70周年特集  
特別座談会  
Special talk



尾賀会頭

### 企業の歩みと地域との 関わり・苦労

**柴田ファシリテーター (以下、柴田)**  
本日はよろしくお願いします。まず、この地域で商売を始められた背景や、印象に残っている出来事をお伺いしたいと思います。  
**尾賀会頭(以下、尾賀)** 当社は、田んぼで採れた菜種を搾って行灯の油を商ったのが始まりです。現在もガソリンスタンドを

近江八幡商工会議所の創立70周年を記念し、当地で約70年にわたり事業を営む企業の方々にお集まりいただき、対談形式でお話を伺いました。  
ゲストには、創業170年を迎える近江八幡商工会議所会頭・株式会社尾賀亀取締役会長の尾賀康裕氏をお迎えしています。ファシリテーターは、県内商工会議所での勤務経験を持つ滋賀大学 地域連携教育推進センター 特命教授の柴田雅美氏が務めました。対談では、企業の歩みや近江八幡の街の変遷、商工会議所との関わり、さらに各社が直面する課題や未来への展望について語っていただきました。

経営していますが、170年前から油、つまり生活のエネルギーに関わってきました。  
**(株)ナカエ 中江氏(以下、中江)**  
私は二代目です。当初は鋤や鋤などの農具を製造していました。昭和29年に法人化した際の社名は「中江農具製作所」で、私の代で現在の名前になりました。「人と農をつなぐ」をキャッチコピーに掲げ、頑張っています。  
**(株)木馬 ひさご寿し 川西氏(以下、川西)**  
もとは琵琶湖の魚などを売っていたようで

すが、先代が定食屋を始めたのが飲食業の始まりです。和食全般何でもある食堂のような店が、旧市街で寿司の持ち帰り・配達を中心にしたところ売上が伸びたので「ひさご寿し」という名前にしたそうです。  
**大橋電設(株) 大橋氏(以下、大橋)**  
私で三代目です。祖父が戦後焼け出され戻ってきて、もともと技術職だったので工場の電気主任技術者などもやりながら、家の一部に店を構えて電球などを

売っていたのが始まりだそうです。  
昭和26年に「大橋電機工務店」として創業し、昭和49年に法人化して今の社名になりました。  
**カワシマ種苗(株) 山田氏(以下、山田)**  
創業は旧市街での種屋でした。先代社長の父にあたる創業者が、モータリゼーションの時代になり、車に乗る人が増えて「こんなところでは駐車場もないから商売ができない」ということで、今の西庄に店を移したのが昭和51年です。その時に有限会社から法人化しました。  
時代に合っていたのか、お客さんがたくさん車で買いに来てくれるようになってから、今のようになりました。旧市街から出てきたところが一番のターニングポイントだったと思います。  
移転にはだいぶ反対されたそうですが、大きな借金をするのに、当時の社長は全く怖くなかったそうです。  
**尾賀** ターニングポイントはどの会社にもあると思います。その時々で判断で、会社が存続するか潰れるかが決まりますが、皆さんにとって何がターニングポイントでしたか？  
**川西** ひさご寿しにとってはお店の移転ですね。昭和43年に旧市街地から現在地に移った際、市役所の建設話がありました。周囲は田んぼで舗装もされていない中、徐々に建物が増えてゆくのをお店は見てきました。  
**尾賀** うちも、今のブーメラン通りの角にあるのがスタンドの第1号なんです。叔父がやったのですが、祖父は「そんな大きな土地を持ってどうするんだ、やめておけ」と言っ、小さくまとめたらしいです。しかし、後にその土地の価値は上がり、叔父の決断力と先見の明はすごかったと今でも思います。今の市役所周辺も当時は田んぼしかなかったのも、やはり(川西さんの先代の)先見の明がすごかったということですね。



**川西** 成功もあれば、投資して失敗したこともあります。「あれをしなければお金が残ったのに」と思うこともあります。失敗は「間違っていた」と分かる機会にもなりますね。  
**尾賀** ターニングポイントがある一方で、バブル崩壊、リーマンショック、コロナのように、我々には何の責任もないのに会社が危機になることもありますよね。そうなった時、皆さんの会社はどうでしたか？  
**山田** 園芸業界は、バブルが弾けた頃は逆に皆お金を使いづらくなって、ガーデニングブームという追い風になったんです。他の産業が落ち込む中、10年くらいはめちゃくちゃ良かった時代でした。毎年毎年商い量が増えて、どんだけ大きな会社になるんだろうと思ったくらいです。



川西氏

**川西** リーマンショックでは、飲食業は大きく落ち込みませんでした。皆食べることはやめませんから。ただ、コロナは別格で「食べに行くな」という、やんわりとした命令みたいな、さすがに店を閉めなければならぬくらいの社会情勢になりました。その時は全く立ち行かないのが明らかでしたが、色々な人たちの動きや補償でなんとか残ることができました。  
業種が違くと、社会の波の当たり方が全く違いますね。カワシマさんの話を聞いてびっくりしました。  
**柴田** 70年・170年と続いてきた中で、何を大切にしてきたのでしょうか？

守ってきたもの、受け継いできたものとは何でしょうか？  
**中江** 私はもともと別の仕事をしていたのですが、母が倒れてしまいました。勤め始めた当時、両親は「自分たちの代で終わるだろう」と話していました。  
しかし、突然の出来事で事業を終わらせるわけにはいかず、大いに悩みました。最終的に継ぐ決断をしたのは、使命感があったからです。ここで事業が途絶えれば、農業の機械化が進む時代を乗り越えてきた努力や、地域の方々から頼られてきた仕事を放棄することになります。それは社会的にも良くない、自分が受け継ぐべき使命ではないかと感じました。  
それがここまで70年間続けてきた一番大きな理由です。

**大橋** 私ももともとサラリーマンでした。親父は「お前なんかには継がせない」と言っていました。今思えば、こんな厳しい世界に入れたくないという親心があったのだと思います。でも面白いもので、祖父はずっと私に「お前が継がなければならない」と言っていたんです。  
すると今度は、親父が私の息子に「お前が継ぐんやからな」って勝手に言っているんですよ。それで私は息子に、「お前なんかには継がさへんぞ」と。どこかで聞いた話ですが。



大橋氏

**尾賀** 本当に、祖父はそう言いますね。親父は、何となく心配なのでしょね。親はわが子だからいろいろ思うものです。うちも父が息子にそう言っていました。

### 近江八幡商工会議所との 関わり

**大橋** 私は最初は建設工業会の一会員で、商工会議所が何をしているのか正直よく分かっていませんでした。



しかし、数年前に若手向けの「はちまん青年経営者会」という組織が作られ、その初期メンバーに入らせてもらい、多業種の経営者たちに出会う中で、全体像が見えてきました。それからは、送られてくる情報に目を通すようになり、自社でも参考になる情報を得られるようになりました。

また、同世代や若い人たちとの交流を通じて、様々なご縁をいただける場所にもなっています。建設業としては、防災協定や災害訓練などを通して、地域住民の皆様にも「安心できる業者が地元これだけいる」ということを発信していただいている面もあります。

**川西** ひさご寿しの場合、伝統野菜「北之庄菜」の見直しが始まった際、商工会議所さんが、他地域がまだそこまで進んでいない段階で地産地消へのアプローチを始めたことは、私にとっても大きなきっかけとなりました。商品開発やブランディングという方向性を示してもらえた感覚があります。そうした関わりがなければ、そこに何も見出せなかったと思います。現在は「はちまんもん」という取り組みもありますが、それをきっかけに、これから学びを得ていく人も多いのではないのでしょうか。人が集まり、次の何かを生み出す場づくりをうまく進めていると感じています。

**尾賀** 北之庄菜のときは、それ自体はあまり良い素材ではなかったのですが、我々からひさご寿しさんに「何かできないか」とお願いしたのがきっかけでした。上からではなく、商工会議所が「こんなものがありますが、何か考えていただけませんか」と会員さんをお願いする、あくまで会員さん主体の形でした。今の「はちまんもん」も同じです。各企業さんが開発したアイテムを紹介するという、我々が願う立場でブランドをつくってこうとする商工会議所の姿勢は、私はとても良いと思います。

## 現在の取り組みとこれから

**中江** ご承知の通り、農業従事者は高齢化により減少しており、私たちの市場も変化しています。現在取り扱っているエンジン関連の機械は、さまざまな場所で活用できることが分かってきました。そこで数年前から取り組んでいるのが、

草刈機や除雪機へのシフトです。小型で誰でも使えるような機械の形を模索しています。今後はこうした機械の割合を増やし、売上の30%程度まで引き上げる計画です。

もう一つは、近年災害リスクが高まっていることから、発電機や洗浄機なども常に在庫を備えておきたいと考えています。すぐに地域で使ってもらえる体制を整えることが、これからは重要だと思っています。これまでは農家ばかりを見てきましたが、視野を広げることで、新たな市場の可能性に気づくこともありますね。

**尾賀** 化石燃料を扱う当社にとって、環境問題への対応は重要な課題です。今後は自然エネルギーの活用など、事業の形を変えていく必要があると感じています。人間にとって「食べる」「寝る」「住む」といった根源的なニーズは、いつの時代も変わりません。そういった要素がビジネスの根幹になればいけないと思っています。そのため、当社も最近では農業に取り組み始めました。ナカエさんやカワシマさんのように、商業も農業と大きく関わっており、ビジネススタイルを変えようとしているところです。



中江氏

**大橋** 私たちは電気設備工事一本でやっています。まずはベースをしっかりと固めておかなければ、新しいことにも取り組めません。新しい技術や情報は常に取り入れつつ、合うもの・合わないものを見極め、お客様に適切に発信していくことが最も大切だと考えています。

**山田** 売れる物や量も変わってきています。昔はセールをすれば大量に売れましたが、今では野菜をたくさん作っても配る先がありません。会社を60歳でリタイアすると、20年ほど畑があるので、草を生やすよりは…と皆が野菜作りを始めました。みんなが同じように作っていた時

代は、よく売れましたね。

でも今は変わってきていて、防草シートが売れるようになっていきます。畑の管理ができず、草が生えて近所に迷惑がかかるから、畑に蓋をするんです。悲しい話ですが、私たちとしては苗を売りたいのに、畑が負担になっているのが現状です。人口も減ってきており、この流れは今後さらに加速していくと思います。

## 次世代へのメッセージ、残したい近江八幡の姿

**中江** これからの近江八幡には、私にとって農業はもちろん、古い歴史も残していきたいと考えています。一方で、若い世代がこの街に魅力を感じるためには、ある程度の都市化も必要だと思います。人口が減れば、店が撤退するような状況も生まれますが、そうはしたくありません。歴史と新しい街、そして農工商。この三つが、私にとって理想の街づくりです。災害の問題もある中で、何もしなければ過疎化は進んでしまいます。全国の流れを見れば、太刀打ちできないようなことも多いですが、少なくとも私たちの街をそうさせてはならない。

未来に向けたグランドビジョンを描くためにも、商工会議所さんや行政と連携し、私たち企業が持つノウハウをいつでも集結できる体制を整えておくことが、理想だと思います。

**柴田** 商工会議所や企業が成り立つには、周りに暮らす人たちの存在が欠かせません。そういった意味でも、たとえBtoBであっても、これからは地域で普通に暮らす人たちとの関わりが必要になってくるのだと思います。

**川西** 皆さん、ロータリークラブやライオンズクラブなど、さまざまな組織に所属しています。それは事業の利益とは直接関係のない、むしろ奉仕活動ですよ。でも、人口8万人のこの街で、これだけ多くの人がクラブ活動に参加している地域は、なかなかありません。近江商人の本質には「社会への投資」という考え方があります。昔はお寺に寄進するなどの形でしたが、今の私たち現代の近江商人は、そのDNAを受け継ぎ、クラブ活動のような社会投資をしているのではないかと感じています。



**尾賀** 近江八幡は、何とか地域に奉仕したいという原点を忘れずに動いています。これは他の地域に比べても顕著です。やはり八幡の人間が入っているとうなるのかな、と感じています。

**川西** 人間同士が出会って、1+1が2じゃない部分が生まれるのだと思います。コスパやタイパで考えれば、出会う人は少ない方が効率的かもしれません。でも、これから事業に取り組む若い世代には、この“オールドスタイル”の中にこそ多くの可能性が秘められていることを伝えたいです。

**大橋** 私はまだ次世代に何かを伝える立場ではなく、むしろこれからやるべきことが多い立場なのだろうと感じながら聞いていました。歴史と伝統のある近江八幡が大好きで、だからこそここに居続けたいと思っています。かつてのアーケードがなくなったり、空き家が増えたりするのはとても寂しいことです。

近江八幡には、古きを知る一方で新しいものを取り入れる力もあります。商業・工業・農業が一体化できる可能性を持った街だと感じています。すぐにできる話ではありませんが、その最初の10年くらいは、私も頑張って関わっていけるのではと思っています。

**中江** 私も間もなく会長職となり、来月から次の世代へバトンタッチすることになります。事業を続けてきた中で、次の世代に伝えたいと思うことの一つは、「常に自分のいる場所から離れて、客観的に物事を見ることの大切さ」です。

私自身も、休みに趣味に没頭して仕事から離れることで、ふと見えてくるものがよくあります。私も二代目で、「会社を潰したらどうしよう」という不安ばかりで、若い頃はなかなか遊ぶこともできませんでした。でも、少し余裕が出てきた今、過去を振り返ってみて思うのは、その視点こそ次の世代に伝えるべきことだということです。

**尾賀** 私も商売を長く続ける上で、事業承継が最も重要だと考えています。適切なタイミングで若い世代にバトンタッチし、自分はそれを静かに見守る立場にいるのが一番良い形だと思います。



山田氏

**山田** カワシマ種苗としては、新しく店舗を構えさせてもらい、今まさに次のステージに進めるかどうかという段階です。お客様の傾向も変わってきており、マニアックな商品を置いていないと来てもらえないような、二極化が進んでいます。以前はトマト、ナス、キュウリなど、品種にこだわらない時代でしたが、今は少量多品種化が進んでいます。これが売れると思って仕入れても、さらに細かいニーズが

求められる。でも、そこが面白いところでもあります。少しずつ変化に対応しながら、拠点は変えず、これからも近江八幡でやっていきたいと考えています。

**川西** 少量多品目ですね。多彩なメニューというのは飲食業によくある話ですが、やはり人は、そういったバリエーション豊かなものに惹かれるものです。

近江八幡の商工業者一つ一つを見ると、上場企業のような大きな会社は多くありませんが、それぞれの企業に価値があるからこそ残っている。その多様な存在が集まっていることは、「少量多品目の街」と言えるかもしれません。今、世界的にも「多様性の価値」が語られていますが、近江八幡はそれを体現している街ではないでしょうか。

さまざまな商工業者、さまざまな考え方の人が共存できている——そんな「少量多品目」の状態にある街は、きっと面白くなるはず。食べ物も野菜も、そして人も、多品目が良いなど改めて感じました。

**柴田** 今日さまざまなお話を伺い、近江八幡の新たな一面が見えました。街と企業それぞれに歴史があり、仲間がいて、社会奉仕のクラブ活動も盛ん。そして「少量多品目」の魅力も感じました。それぞれ暮らす人が自分の時間を大切にしながら暮らしていることが、全体を通じて伝わってきました。本日はありがとうございました。

〔対談日〕R7.7.25 〔会場〕ひさご寿し



滋賀大学 産学公連携推進機構  
地域連携教育推進センター 特命教授  
柴田 雅美 氏



動画で  
Check!

### 座談会の雰囲気、動画で感じてみませんか？

誌面ではお伝えしきれなかったエピソード、企業の皆さまの温かい人柄や、和やかな雰囲気での掛け合いをぜひ動画でご覧ください。事業にかける想い、地域への深い愛情、そして未来への展望を語る生き生きとした表情を感じていただけます。



動画はこちら



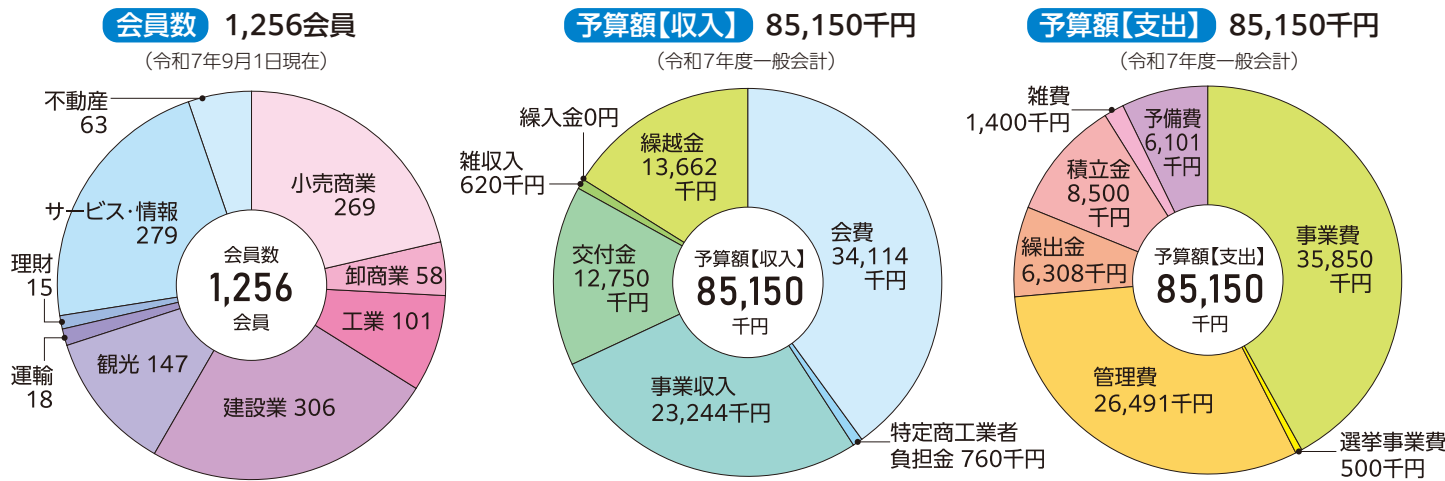


# 近江八幡 商工会議所

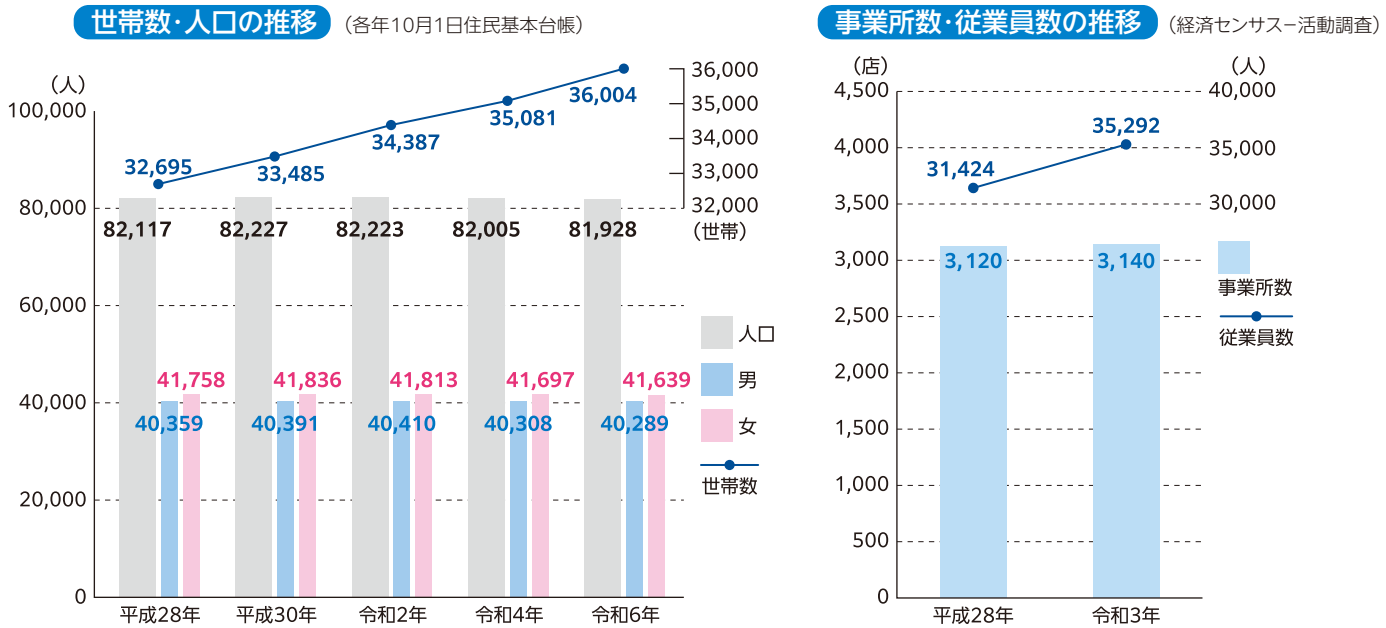
## 概要

近江八幡商工会議所は、滋賀県下第4番目の商工会議所として、従来の商工会を発展的に解消し、隣接安土、竜王、能登川3町の有力者並びに、地元産業界の尽力により、昭和30年4月19日に通商産業省の許可を得て設立しました。その後、昭和35年には商工会等の組織に関する法律の施行により、隣接3町が当所から分離し、近江八幡市行政区域内商工業者のみの組織になりました。現在、経済環境の変化に対応しながら1,256会員(令和7年9月)の地域商工業者に密着した活動を続けています。

### ■ 会員数・予算額



### ■ 近江八幡市の経済動向

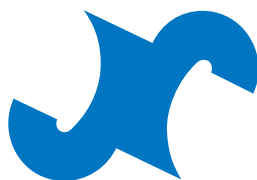


### ■ 第24期近江八幡商工会議所議員名簿 (敬称略)

役員名	氏 名	会社名	役職名
会 頭	尾賀 康裕	(株)尾賀電	取締役会長
副会頭	山本 昌仁	(株)たねや	代表取締役
副会頭	辻 雄一	ツジソト(株)	代表取締役
副会頭	木村 茂	滋賀中央信用金庫	常務理事
専務理事	堤 昭憲	近江八幡商工会議所	
常議員	川崎 孝雄	(株)カワサキ	代表取締役
常議員	川端 咲子	(株)ダイゴ	代表取締役社長
常議員	渡辺 政幸	(有)森三商会	代表取締役
常議員	田中 康博	(有)スタッフ	代表取締役
常議員	小川 与志和	(株)和た与	代表取締役
常議員	和田 一浩	和田産業(株)	代表取締役
常議員	森嶋 篤雄	近江牛・和牛専門寛閑観(株)もりしま	代表取締役
常議員	小林 正樹	小林運送(株)	代表取締役
常議員	中島 弘雅	(株)近江八幡安全教育センター	代表取締役
常議員	山田 脩治	(株)ヤマプラ	代表取締役会長
常議員	三輪 肇	(株)ミツワコーポレーション	代表取締役
常議員	北川 善信	(有)キタゼン	代表取締役
常議員	際田 剛志	(株)大進	代表取締役社長
常議員	佐野 和夫	(株)びわこフード	代表取締役
常議員	田中 正一	(株)近江牛のやまげん	社員
常議員	秋村 洋	(株)秋村組	代表取締役
常議員	大西 淳一	大西電子(株)	代表取締役
常議員	西谷 亀三郎	(有)関西看板	代表取締役
常議員	谷口 彰	アイズ(株)	代表取締役社長
常議員	辻 昌宏	(株)近江兄弟社	代表取締役
常議員	野瀬 宇一郎	(株)八興	会長
常議員	坂本 智晃	(株)坂本建設	代表取締役
常議員	辻 基裕	近江鉄道(株)	所長
議 員	小森 和英	シキボウ(株)八幡工場	工場長
議 員	谷澤 徹也	(株)大日本精工	代表取締役
議 員	上阪 廣子	(株)ウエサカ通商	代表取締役
議 員	奥村 吉男	(株)奥村佃煮	代表取締役
議 員	飯塚 信之	(株)カフムラ	代表取締役社長
議 員	随井 佳子	近江薬品	代表者
議 員	村井 弘樹	(株)オギキチ	代表取締役
議 員	山本 隆夫	(株)クラブハリエ	代表取締役
議 員	松村 務	浅小井農園(株)	顧問

役員名	氏 名	会社名	役職名
議 員	河村 達広	三河自動車(株)	代表取締役社長
議 員	垣内 健太	(有)カキウチ	代表取締役
議 員	乾 哲典	(株)乾設備工業	代表取締役
議 員	古株 弥太郎	(株)アース	代表取締役
議 員	尾本 博子	西川電工(株)	代表取締役
議 員	重田 将利	(株)重田組	代表取締役
議 員	大橋 浩之	大橋電設(株)	代表取締役
議 員	小川 敏信	(株)小川組	代表取締役
議 員	小見山 康子	(株)水郷のさと まるやま	代表取締役
議 員	藤井 嗣己	朝休暇村 近江八幡	総支配人
議 員	吉尾 雄馬	滋賀県信用組合八幡支店	支店長
議 員	川村 博	(株)グリーンホテル	代表取締役
議 員	小林 辰雄	(株)モアエンタープライズ	代表取締役
議 員	福井 寛	福井電気工業(株)	代表取締役
議 員	櫻井 健一	メニックス(株)	会長
議 員	前出 博幸	前出産業(株)	代表取締役
議 員	高森 匡宏	(株)タカモリ	代表取締役
議 員	村田 正明	(株)近新	取締役ゼネラルマネージャー
議 員	宮川 晃	酒のさかえや	代表者
議 員	藤居 亀雄	フジ薬局(株)	取締役
議 員	畑 作裕	(有)ハタサク	代表取締役
議 員	廣瀬 直次	(有)かじ直タイヤ	取締役
議 員	田中 誠	(有)中野電機商会	代表取締役社長
議 員	西川 学	(株)西川組	代表取締役社長
議 員	田中 正彦	太陽舗道(株)	代表取締役
議 員	川西 豪志	(株)木馬 ひさご寿し	代表取締役
議 員	辰野 晃三	近江タクシー(株)	代表取締役
議 員	廣田 英也	アクサ生命保険(株)彦根営業所八幡分室	営業所長
議 員	西堀 洋子	(株)近江八幡自動車教習所	代表取締役
議 員	川上 優	八幡住宅	代表者
議 員	宮本 岳	(株)えがおホテルニューオウミ	統括支配人
議 員	児島 多鶴子	近江ユニキャリア販売(株)	代表取締役
議 員	幸明 哲也	(有)ニュース	代表取締役
議 員	永岡 哲	日本生命保険(相)近江八幡営業部	営業部長
監 事	山本 治三	山本治三税理士事務所	代表者
監 事	境 和彦	(株)滋賀銀行八幡支店	支店長
監 事	大野 恵延	(株)関西みらい銀行八幡駅前支店	支店長





2025.10.10

## 近江八幡商工会議所

〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町231番地2  
TEL:0748-33-4141 FAX:0748-32-0765

デザイン・制作 株式会社 ヤマツウ